

## 1 社会・治安情勢

### (1) テロ情勢等

イスラム原理主義等の国際テロの当国への浸透は今のところ確認されていないが、当局はそのような状況の発生を未然に防ぐため、警戒を強化している。国際テロ関係の暴力的な集団は認められない。

また、日本人を標的とした営利目的の誘拐等に関する情報についても確認されていない。

### (2) 一般治安・犯罪状況等

貧富の差の拡大が見られるほか、人口増加と都市部への農村人口流入といった状況が継続しており、度重なる計画停電や経済的な不安的要因による社会的なリスクが増大している。右に伴って、都市部を中心に治安情勢の悪化が懸念される。犯罪の発生は今のところ低く抑えられているが、窃盗、置き引き、ひったくり、スリ等の一般犯罪が目立つ。

### (4) 社会情勢

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、ザンビア経済への影響が懸念されており、経済活動再開に関する政府施策に対する不満等から小規模なデモ活動が発生している。また、昨年から続く水不足により、電力供給に甚大な影響が出ており、地域によっては日に12～15時間の停電が発生しており、人々の生活に重大な影響を及ぼしている。これらが特に貧しい階層の人々の不満の増大につながり、治安情勢にも悪影響が及ぶことが懸念される。

## 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 在留邦人が多数居住し比較的安全とされているルサカ市においても車上荒らし、住居侵入などが断続的に発生している。また、コンパウンド内では日中であってもスリや放火などが発生している。

### (2) 邦人被害事案

6月8日午後1時頃、ムチンガ州チンサリの邦人宅において、犯人が邦人の在宅中に携帯電話を奪う事件が発生した。同事件の直前には、犯人が邦人宅の窓から枝を使用して、電子辞書を盗もうとしていた。邦人に身体的被害はなく、また、犯人は後日警察に逮捕されている。

### (3) 邦人以外の被害事案

ア 4月3日深夜1時から2時にかけて、ルサカ州チョングエの米国人女性住宅において、就寝中の女性が5人組に暴行され、現金90,000K及び300USDを盗まれる被害に遭った。暴行された女性は、負傷により地域病院に入院中。外柵に設置されていた鉄条網は切断され、ドアが破壊されていた。

イ 5月24日12時頃、ルサカ市郊外のマケニにおいて、倉庫で火災が発生しているとの通報により駆けつけた警察及び消防は、中国人が経営する同倉庫から、同倉庫の管理人である52歳の中国籍女性の焼死体を発見した。倉庫裏にある住居の床にはいくつもの血痕が付着しており、また、血の付いたナタが発見さ

れた。警察は、他の2名の中国国籍者の捜索を継続したところ、25日、内1名の焼死体が現場で発見された。同25日警察は、ルサカ市及びコッパーベルト州ンドラ市において、容疑者各1名をそれぞれ拘束した。

(4) その他

ア 5月20日、北部州ナコンデのタンザニアとの国境付近で暴動が発生した。警察によると、本暴動は、感染症に伴うロックダウン政策に反対する政治的意図を有しており、投石や武装化した暴徒8名を逮捕したと発表した。

イ 6月22日、ルサカ州ルサカ市のマンダヒルショッピングモール付近で、貧困層地区の若者により、無許可のデモが計画された。警察はデモ予定地域で取り締まりを強化していたが、結局デモ活動は実施されなかった。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

5 日本企業の安全に関する諸問題

問題とされる情報に接していない。(了)